

3 教科指導

	改善すべき課題及び目標	改善に向けての行動の具体的な内容	評価	年度末総合評価・チェック事項
国語	<p>課題</p> <p>①基礎学力・学習習慣の定着 ②生徒間の学力・学習意欲の格差 ③新学力観への対応</p> <p>目標</p> <p>全員が中三までに高校につながる学習の姿勢態度を確かなものにする。</p>	<p>①ノートの確認指導。 ②小テスト指導。 ③予習・復習及び宿題の指導。 ④新学力観に対応するために、語彙力・読解力・表現力・聞き取る力を養成するための教材使用及び指導を行う。 ⑤シラバスの充実</p>	B	<p>ノート・小テスト・宿題の指導により、日常的に国語の学習が以前よりも定着してきた。古典の指導は1年次から古文漢文に親しむ機会を増やし、2・3年次では高校につながる学習習慣を身につけつつあるが、生徒の興味関心や主体的な学習姿勢を引き出す工夫には今後改善の余地がある。新学力観への対応に関しては、中学3年間を見通した学習活動が十分であるとはいえない。また引き続きシラバスの充実を図る必要がある。特に中学3学年における高校分野の指導に関しては、模試の取り組み方を再検討することを通して、中学3年間の学習到達の目標点を見直す必要があると思われる。</p>
社会	<p>①場面に応じて適切に資料を読み解き、考える力を養う。 ②社会事象に関心を持ち、主体的に考え行動する力を養う。 ③歴史分野・地理分野・公民分野に関して、高校での学習に繋がる基本的な知識を身につけ、理解を深める。</p>	<p>①新聞やテレビ、インターネットなどの最新の情報を適切に取り扱い、教科の学習だけでなく、世の中の出来事についての興味関心を持つ姿勢をもつよう指導する。 ②歴史分野・地理分野・公民分野の知識・理解を断片的なものとするにとどまらず、生徒たちに向けて、世の中の出来事を考える上で「活きた知識・理解」とするため、随時調べ学習や意見交換、発表の場を設ける。</p>	B	<p>①毎回授業の際に時事問題を取り上げて、生徒の興味関心の喚起をはかることができた。 ②夏休みの宿題や修学旅行の事前学習を利用して、生徒自らが調べて発表する機会を設けることができた。</p>
数学	<p>①数学に対する興味関心を深め、数学という学問の美しさを知る。 ②中学数学の基本内容を確実に理解し、数学的な考え方を身につける。 ③公式等の理解のみにとどまらず、より深い内容の問題にも自主的、積極的に取り組む。 ④中3では、高校数学に対しての興味関心を深め、高校につながる学習方法を身につけるとともに、将来において難関大学への挑戦、合格にもつながるような数学的な感性を育てる。</p>	<p>①教師間の意思の疎通、情報の共有を積極的に行なう。 ②シラバスをきちんと確認し、中学の3年間さらには高校までの6年間を見通した授業進度の確保を推進する。 ③各個人の理解力に応じた教材を通して、生徒の達成体験を経験させることで、数学の学習に対する意欲を育てる。 ④数学甲子園、数学オリンピック等に積極的に挑戦することを通して、より高いレベルの数学への理解力を醸成する。</p>	B	<p>①教科会、資料の回覧などが実施できた。今後、互いの授業研究などをさらに積極的にやりたい。 ②ほぼ計画通りに実施できた。 ③生徒の学力差が顕著になってきており、今後の課題である。 ④積極的に参加する生徒が多く、さらに進めたい。</p>
理科	<p>①科学的興味関心の向上 ②科学的思考の養成 ③科学的態度や知識の積極的な習得</p>	<p>①視覚的な教材をより多く使用する ②実験観察を中心に授業を展開する ③実験観察から見える法則性を見出す能力を高めるように、レポートやノートの書き方の指導を行う</p>	①B ②B ③A	<p>①展示実験をして具体的な現象を見せたが、震災による実験道具の破損でできないこともあった。 ②実験室でできるだけ、実験実習を行なったが、実験装置の数量に限りがあった。 ③レポート指導を行い、実験のまとめ方の指導を行った。</p>
保健体育	<p>①体力の向上 ②基本技術の習得 ③事故やケガの予防・防止につとめる(特に熱中症) ④オリンピック・パラリンピックについて知る</p>	<p>①授業始まり時のランニングや、体づくり運動を積極的に取り入れる。 ②基本動作の反復練習を根気よく実践する。 ③体育用具や施設の点検、ウォーミングアップは元よりクールダウンを実践する。また、気温や湿度には特に注意を払い、日陰での休憩や水分補給を心がける。</p>	B	<p>①授業始まりの集合や整列に時間を取られることがあり、集団行動の指導を徹底する必要がある。 ②「楽しい授業」と「できるようになる授業」のバランスが悪く、担当者の工夫が必要と思われる。 ③休憩や水分補給については計画的に実施できた。授業の始まりが遅くなることでクールダウンの時間が取れないクラスがある。</p>
技術家庭	<p>①自立の基礎を固める ②共生を学びあう ③現代の社会に対応できる力をつける</p>	<p>①基礎基本の徹底 ②実習、実験内容の精査 ③研修、研究の実施</p>	B	<p>食生活・衣生活を中心に家庭科の基礎基本を身につけるような授業ができた。実習については、被服実習や実技テスト等をはじめ、将来の生活に役立つような内容を取り組むことができた。生活設計についても将来を見通し、一生にお金に関してもそれぞれで調べる事ができた。</p>
外国語	<p>①英語への興味・関心を高め、苦手意識をなくす ②基礎学力の定着・充実をはかる ③学校及び家庭での学習習慣の確立 ④中学英語における学習内容の理解を深め、高校英語に向けて</p>	<p>①リスニング教材等の活用、暗誦大会の実施(2学期) ②ノート提出・確認指導 定期考査のやり直し ③課題・宿題(問題集・プリント等)の確認指導 ④4技能外部検定の受験(中3)</p>		<p>授業用のノートや、課題(宿題)等提出物の提出を定期的に確認することで、英語の学習習慣の定着、特に予習・復習の定着につながった。授業中は、小テスト(単語)や確認テスト、暗誦(音読)テストを設けることで、英語の文構成に慣れることができた。また、総合的学習時間での英会話や、外部検定試験の受験に挑むことで、英語による会話表現にも慣れることができたと思われる。</p>

- A : 大いに改善あり
- B : だいたい改善あり
- C : やや改善なし
- D : 全く改善なし